

# 平成24年度事業報告書

ひとり親Tokyo

財団法人 東京都母子寡婦福祉協議会

## 平成24年度事業報告

### I 実施事業

本協議会（「ひとり親Tokyo」）は、都内のひとり親家庭・寡婦の自立精神の確立を図り、相互扶助と共同の福祉の増進に努め、健全な家庭生活をもたらすことを目的として、活動を展開してきた。

平成20年12月公益法人制度改革関連3法による5年間の移行期間、特例財団法人として法人の在り方検討委員会を設置し検討してきた。平成24年11月理事会において一般財団法人に移行することを決定し24年度末認可を受けることができた。

平成24年10月には、11年間会長を務められた伊部美佐子前会長が退任し新たに選任された高田伊久子会長のもと新たな執行体制を構築している。

主事業である東京都における母子家庭等就業・自立支援センター（東京都ひとり親家庭支援センター）は開設から10周年を迎えた。これを記念しひとり親家庭支援関係団体を招き「はあとフェスタ」を開催し、機関間の相互理解と一層の連携を持つことができた。

また、平成24年度民法改正により国が初めて開始した面会交流支援事業を、東京都はひとり親家庭支援センター事業の一環として受託し開始している。

平成22年度から、実施運営している在宅就業支援事業については、ひとり親家庭の母等受講生3期まで行い、25年3月第4期を開始し25年度も継続し実施する。

本協議会が当事者団体として、都内ひとり親家庭への支援を行う事業について、女性の就業支援を社会貢献事業として行っているジョンソン・エンド・ジョンソン株式会社、三菱商事株式会社、東京セントラルユースホテル、ボランティアグループの支援を得て事業が充実拡大しているところである。

#### 1 公益事業活動

##### (1) 東京都ひとり親家庭支援センターの運営（東京都委託事業）

本事業は東京都ひとり親家庭支援センター実施要綱(平成23年3月24日付福保子育て第2327号)に基づき実施する東京都の委託事業である。

都内のひとり親家庭への相談支援及び普及啓発等を行い、その自立支援と生活の安定を図るために事業を運営する。

平成24年4月1日より、民法が一部改正され、父母が離婚する際、父母は母と子との面会及びその他の交流、子の監護に要する費用の分担について協議することとし、その際に子の利益を最も優先して考慮しなければならないとされた。このことにより東京都から面会交流支援事業を受託し、本年5月7日から「はあと」で受付を開始した。なお、実際に親子の面会交流支援は適切な第三者に再委託をすることができるものとされている。

「ひとり親家庭支援センター」は、東京都「母子家庭等就業・自立支援センター」（厚生労働省要綱）の通称である。また、その愛称を「はあと」とし、3か所で相談受付等を行っている。実施場所の区分は以下のとおり。（12ページ、表1）

「はあと」（飯田橋セントラルプラザ5階、ひとり親Tokyo事務所）

- ・生活相談、養育費相談の他、各事業の本部として企画立案を行っている。
- ・生活相談・養育費一般相談（月～金）は職員2名が担当。
- ・土曜日は1名・日曜日2名は別に相談員を配置している。
- ・養育費専門相談は家庭裁判所調査官・家庭裁判所調停委員・臨床心理士等の資格、経験のある専門相談員2名が担当している。
- ・面会交流支援事業の申込受付は職員2名があたり、資格審査を行い適当であれば、公益社団法人家庭問題情報センター（FPIC）の面会交流支援員に郵送し、実際の面会交流の実施支援等を委託している。

「はあと飯田橋」（東京しごとセンター7階）

- 就業相談・職業支援・企業等への雇用促進（月～金）は2名の相談員、土曜日は別に1人の相談員を配置している。

「はあと立川」（立川市曙町小杉ビル2・3階）

- 在宅就業相談・家庭生活と仕事の両立相談（月～金）2名が担当。

#### ① 就業支援事業

ひとり親家庭及び寡婦が安定した生活を築く就業の機会確保のために、企業への普及啓発や求人開拓につとめ就業相談、職業紹介支援を行ってきた。求人についての情報は「とぼきょう無料職業紹介所」としてホームページ上に掲載し情報提供をしている。

(ア) 就業相談、紹介活動（はあと飯田橋）（火・木は午後8時まで）

応募書類の作成支援、求職者の希望と適性等による職業のマッチングなど、電話・面接により行った。（13ページ、表2）

・来所相談	478人	…	相談件数	756件
・電話相談	1,531人	…	相談件数	1,798件
計	2,009人	…		2,554件

(イ) 就業促進活動

都内の企業等に対し、ひとり親家庭の雇用促進に対する啓発や、求人の新規開拓等を電話、訪問、メール、郵送等の方法により行った。（13ページ、表3）

・求人件数	377件
・求人数	1,418人
・求職登録者数	177人
・就業（就職決定）数	95人

(ウ) 相談支援員研修会

地域において、ひとり親家庭等の支援をしている方、母子自立支援員、母子生活支援施設相談員、ハローワーク等就業支援機関担当相談員等、相談支援に

関わるに必要な主要テーマについて研修会を実施した。(14ページ、表4)

- ・回数 5回
- ・受講者 201人

(エ) 就業支援講習会(自立促進講習会)

ひとり親家庭の母・父及び寡婦等に対し、就業に必要な知識と技能を習得するため、東京都立職業能力開発センターの協力を得てパソコン講習会を実施した。受講料は無料。(15ページ、表5)

- ・回数 1回3日間を 10回
- ・受講者 177人

(オ) 就業情報提供

- ・職業訓練や就業支援講習会などキャリアアップのための情報の提供
- ・求人・求職情報の収集と提供
- ・求職者が希望する場合は職業紹介を行った。

②生活相談事業(通年)(はあと)

安心して暮らすための日常生活に関すること、健康や医療、住宅、母子福祉資金など生活一般、教育やしつけなど子どものことなど。

相談日等 通年(年末年始を除く) 相談受付時間は9時から16時30分まで、面談による相談も受け付けている。(14ページ、表2)

- ・来所相談 21人 … 相談件数 53件
- ・電話相談 846人 … 相談件数 1,802件
- 計 867人 … 1,855件

③ひとり親家庭養育費相談

(ア) 一般相談は、電話や面接により行い、希望及び必要により専門相談を受けられる。(16ページ、表6)

- ・相談人数 260人 … 相談件数 431件

(イ) 専門相談は面接で1時間の相談を行う。日程はホームページ・はあと通信に掲載する。

- ・年間99日間 194時間 相談人数 121人
- ・「養育費相談支援センター」と共催で無料相談会を実施した。  
6月16日(日) 相談人数 18人 託児 4人

(ウ) 家庭裁判所等同行支援

相談員又は専門相談員は必要に応じて、家庭裁判所等で相談者自らが手続きする際に同行し書類作成等の技術的支援や精神的支援を行う。

- ・相談を受ける中で手続き方法等説明、支援したので同行はなかった。

#### ④面会交流支援事業

面会交流支援事業は①インテーク、②資格審査、③面会交流支援員の設置、④監護親・非監護親との事前面談、⑤支援内容の決定、⑥面会交流の実施支援、⑦実施報告書作成、⑧その他面会交流支援事業の実施に必要な事項からなり、③～⑦を公益社団法人家庭問題情報センターに委託している。

- ・相談件数（当所が本人等から電話等を受けたもの） 355件
- ・関係機関からの問い合わせ等 74件
- ・面会のための支援を行った件数 109件
- うち実際に面会交流を行った家族 11家族（17人）

#### ⑤はあとフェスタ

ひとり親家庭の支援の拠点として、東京都ひとり親家庭支援センターが開設してから、10周年を迎えた。その間、雇用情勢の変化に応じた自立支援、父子家庭への支援拡大、再婚家庭の増加など、時代とともに変化するひとり親家庭を取り巻く課題も変化してきた。ひとり親家庭支援センター開設10周年の感謝を込めて、ひとり親家庭への支援のより一層の促進を図るため、ひとり親家庭の当事者、支援者、関心のある方を対象として「はあとフェスタ」を開催した。実施にあたっては日頃協働が難しい都内ひとり親家庭の関係団体との連携促進を図った。

- ・平成24年10月8日（月・祝）（10.8はひとり親の日として）  
9：00～16：00東京しごとセンター講堂

##### ・内容

関係機関ブース出展、セミナー（養育費・面会交流、団体のプレゼンテーション在宅就業支援プログラム修了生の作品展示、就活メイク、親子ふれあいリラクゼーション、マジックショー・ふれあい手品、相談コーナー（仕事・生活・養育費など）、託児

- ・大人84名（子供41名）
- ・ブース出展団体 10社

財団法人東京都母子寡婦福祉協議会、NPO法人しんぐるまざあず・ふぉーらむ、NPO法人Wink、公益社団法人家庭問題情報センター、ハーモニーレジデンス、ステップファミリー・アソシエーション・オブ・ジャパン、日本ギャルママ協会、T-Hop、ファザーリング・ジャパン、東京都社会福祉協議会母子福祉部会

#### (2) 在宅就業支援事業（東京都委託事業）

ひとり親家庭が就業と子育てを両立しやすい働き方の一つとして、ITを活用した在宅就業支援を行う事業である。3年目である平成24年度は、在宅就業支援プログラム・在宅就業相談・仕事と家庭生活の両立相談・業務開拓に加え、在宅ワークの普及啓発事業として第2回「東京都在宅就業フェア」を開催した。

24年度は、本事業終了後の在り方、連携体制の情報収集のため在宅就業支援事業実施自治体（塩尻市、福島県）への視察を行った。

事業運営にあたり、能力開発及び在宅就業相談、業務開拓は特定非営利活動法人日本ITイノベーション協会、(株)ROMIFACTORY及びに再委託して行っている。

また、円滑な事業運営のためスーパーバイザーとして2名委託している。

なお、25年度まで事業が延長され引き続き実施運営する。

#### (ア) 実施方法

##### ①在宅就業支援プログラム（16ページ、表7）

ア 研修期間 12か月

- ・基本研修（6か月）パソコンの基礎及び在宅就業に必要な知識の習得  
286時間×3クラス(計858時間)
- ・実践研修（6か月）専門分野のスキル修得・在宅業務支援  
286時間×3クラス(計858時間)

イ 受講者 修了者51名 3期累計 152名

ウ 受講者の通所受講支援

・手当支給

受講者には各月、訓練手当（月額50,000円）を支給している。また、自宅学習用にパソコン（各種専門ソフト装備）を貸与し、且つそのインターネット接続料（月額3,000円）を助成している。

・保育支援

受講者の子どものうち研修期間中の保育が必要な子どもに行った。  
通年保育は認証保育所に委託し、長期休暇中やイベント対応として母子会会員による託児を行った。

エ 平成25年3月から開始する第4期生募集（定員60名）を行った。

・応募者 102名 受講者 60名決定（開始時59名）

##### ②相談支援

ア 在宅就業相談（週2日 11:00～18:00）

ひとり親家庭等からの相談件数 263件

イ 仕事と家庭の両立相談（月～金 9:00～17:30）

相談人数200人、相談件数 366件

##### ③業務開拓

- ・開拓件数 138件 受注確定数 16件
- ・マッチング及び品質管理  
業務支援日 第3期生 9回 16案件

##### ④その他

ア 東京都ひとり親家庭フェアの開催 平成25年2月22日（金）

- ・企業出展ブース21社、来場者数538名
- ・ミニセミナー及び出展社によるプレゼンテーション

- ・パネル展示及び修了生作品展示
- イ 事業評価
  - ・受講者アンケート調査 各期3回（受講開始・実践研修移行時・終了時）
- ウ 運営会議等開催 7回
- エ 受講生募集・在宅就業フェア・はあとフェスタ開催等の広報（チラシ・バナーデザイン・記事作成については、受講修了生により作成した。

#### （4）フォローアップ事業

相談者がよりスムーズな就職、職場への定着を目指し、ひとり親家庭ならではの精神的支援を含めたきめ細かい支援を、協賛企業（ジョンソン・エンド・ジョンソン社及び資生堂情報ネットワーク）・ITボランティアの協力を得て実施した。

また、24年度は支援員の資質向上のための研修事業もおこなった。事業実施運営費はジョンソン・エンド・ジョンソン社の賛助金を得ている。

##### 【ジョンソン・エンド・ジョンソン社会貢献委員会協力事業】

#### （ア）フォローアップ講座

- ・回数 2回
- ・第1回「看護師への道」講師 帝京平成大学教授 網野 寛子氏  
受講者数 18人（申込者数30名）
- ・第2回「資格を取得して働く」先輩の体験発表とパネルディスカッション  
受講者数 22名（申込者数 31名）

#### （イ）ひとり親家庭のための就活塾

応募書類の作成、模擬面接、メイクアップやビジネスマナー等、就業に必要な基本を身につけることを目指す就業支援を実施した。

テキストとして「私の就活ワークブック」制作（編集協力 ユック舎）

回数 3回 受講者 15名（申込者 30名）

#### （ウ）ひとり親への就労支援者へのスキルアップ講座（スーパービジョン）

- ・回数 2回
- ・ファシリテーション能力・傾聴力・プレゼンテーション能力向上
- ・受講者数 40名（申込者数51名）

#### （エ）“ひとり親で働く”を語りあおう！（研修と交流）

- ・回数 1回 参加者46名（申込者数47名）  
参加者の子ども37名

ひとり親の母たちのパネルディスカッションと水上さんと愉快的な音楽仲間たちによる子供たちの交流タイム

##### 【ITボランティア講師】

#### （ア）パソコンフォローアップ塾

- ・回数 5回…1回は9:30～12:00で2日間
- ・受講者数 43人

(5) 「母子相談の家」電話相談事業

- ・母子相談の家相談員が毎月第1及び第3土曜日(年末年始及び祝日を除く)、都母協事務室において、午前10時から午後4時まで電話相談を受けた。
- ・回数 24回
- ・相談員 14人

2 共益事業活動

(1) 連絡提携事業

① 地区母子会相互間及び地区母子会とひとり親Tokyoとの連絡提携

- (ア) 会長会 2回(平成24年6月、平成25年2月)  
会長宿泊交流会 1回 東京セントラルユースホテル(12月7日～8日)
- (イ) 機関紙「ひとり親Tokyo」発行 年2回(8月、1月)各3,000部

② 助成事業

- (ア) 新規会員の獲得のためのブロック交流事業に対する助成
  - ・多摩地区合同交流会「立川防災館見学」
- (イ) 新規会員獲得のための地区母子会が行う交流事業に対する助成
  - ・中央区母子寡婦福祉連合会主催「ひとり親家庭日帰りバス旅行」
  - ・立川マザーズ主催「夏の一泊研修会」
- (ウ) 地区母子会の会員の資格取得に対するお祝い金の支給  
申請なし

③ 関係団体との連絡・提携

- (ア) 母子寡婦福祉団体等
  - ・平成24年度第66回関東地区母子寡婦福祉研修大会参加  
神奈川県藤沢市 参加者数 76名 (資料代3,000円補助)
  - ・平成24年度全国母子寡婦福祉研修大会参加  
山口県 参加者数 6名 山口市
- (イ) 関係団体等
  - ・自民党母子寡婦福祉対策議員連盟会員議員との懇談会出席
  - ・東京都議会政党への予算要望活動 9月
- (ウ) その他の団体
  - ・三菱商事株式会社主催「母と子の自然教室」への参加者の推薦  
参加決定 7世帯の親子

(2) 東京ムーヴ事業

専門部として、都内のひとり親家庭を対象にレクリエーション活動、研修活動等を通じて、ひとり親の交流活動を行った。今年度はセントラルプラザ18階にある東京セントラルユースホテル様より、社会貢献活動のひとつとして、都内ひとり親家庭の親子の宿泊交流会の場として無償提供していただく機会をいただいた。(17ページ、表9)



- ① 交流事業 2回
- ② 東京セントラルユースホテル交流宿泊事業招待 25年1月25日～26日  
14家族申込、10家族21人参加
- ② 定例会等
  - ・定例会…交流事業についての打合せ会とあわせて9回実施
  - ・ひとり親部会（6月19日）
  - ・第2回会長会・ひとり親部との懇談出席（2月19日）
  - ・関東地区母子部長会議出席（千葉県千葉市生涯学習センター7月 1月）
  - ・平成24年度母子部長研修会議出席（アワーズイン阪急 3月）

### 3 東京都ひとり親家庭私立高等学校等入学金貸付の償還に関する事業

平成18年度からは、未償還者に対する償還促進に取り組んでいる。

平成23年度も正副会長をはじめ関連する地区母子会長の協力の下、個別訪問調査を実施し、償還促進に努めた。

#### ①償還額

- ・平成23年度返還額 10,291,879円 納付件数 3,129件
- ・償還金収入 5,693,915円
- ・延滞金収入 4,597,964円

②住所照会 759件

③督促状送付 3881件

④完了件数 60件

⑤訪問件数 203件

⑥平成24年度東京都母子・女性福祉資金償還促進会議出席

- ・償還編 平成24年11月22日（木）東京都社会福祉保健医療研修センター

⑦平成23年度東京都ひとり親家庭市立高等学校等入学金貸付に関する事務処理委員会  
7回開催 場所：都母協事務所

- ・平成24年1月16日（月）都母協事務所

### 4 事業運営のための収益事業

母子及び寡婦福祉法に基づき、母子福祉団体であるひとり親Tokyoには、都の公共施設内に売店及び自動販売機の設置が認められており、これらの運用による収益が本協議会の重要な財源になっている。

- ・売店  
現在なし
- ・自動販売機  
設置施設 29施設  
設置台数 56台

・収入額	15,648,392円（雑収入を除く）
売店売上収入	0円
自動販売機手数料収入	15,648,392円

## II 機関運営

本協議会の運営に関する重要な事項を審議するため、次のとおり理事会及び評議員会を開催した。

### 1 理事会

(1) 第1回理事会 平成24年5月26日

#### 【審議事項】

- ①平成23年度事業報告書（案）について
- ②平成23年度決算報告書（案）について
- ③監事監査報告について
- ④平成24年度補正予算について

(2) 第2回理事会 平成24年8月13日

#### 【審議事項】

- ①平成24年度フォローアップ事業（案）について
- ②平成24年度第2次補正予算（案）について
- ③財団法人東京都母子寡婦福祉協議会の新法人移行方針（案）について
- ④理事、監事及び評議員の改選について

#### 【報告事項】

- ①収益事業について

(3) 第3回理事会 平成24年9月24日

#### 【審議事項】

- ①会長の選任について

#### 【報告事項】

- ① 今後の財務状況の試算
- ② 東京ムーヴの活動状況について

(4) 第4回理事会 平成24年10月29日

#### 【審議事項】

- ①一般財団法人移行に関する基本的事項について（素案）
  - ・新法人の評議員、理事及び監事の定数並びに役員等の報酬について
  - ・公益目的支出計画等について
  - ・新法人の定款について

(5) 第5回理事会 平成24年11月26日

#### 【審議事項】

- ①財団法人東京都母子寡婦福祉協議会の定款の変更の案について
- ②一般財団法人移行認可申請について
- ③東京都ひとり親家庭等在宅就業支援事業について
- ④平成24年度第3次補正予算について

(6) 第6回理事会 平成25年1月13日

**【審議事項】**

- ①最初の評議員選定委員会設置要綱について
- ②最初の評議員選定委員会委員の選任について
- ③最初の評議員候補者の推薦について
- ④移行認可申請及び公益目的支出計画について
- ⑤平成25年度事務局運営体制について
- ⑥経理事務の扱いについて

(7) 第7回理事会 平成25年2月11日

**【審議事項】**

- ①最初の評議員候補者の推薦について

(8) 第8回理事会

- ①学習支援事業について
- ②平成25年度事業計画（案）について
- ③平成24年度収支予算（案）について
- ④経理規程の制定（案）について
- ⑤法人移行登記（案）について
- ⑥法人移行時の副会長の選任について
- ⑦事務局長の任命（案）について

**【報告事項】**

- ①最初の評議員選定委員会の結果について

## 2 評議員会

(1) 第1回評議員会 平成24年5月26日

**【審議事項】**

- ①平成23年度事業報告書（案）について
- ②平成23年度決算報告書（案）について
- ③平成24年度補正予算（案）について

(2) 第2回評議員会 平成24年8月13日

**【審議事項】**

- ①平成24年度フォローアップ事業（案）について
- ②平成24年度第2次補正予算（案）について
- ③財団法人東京都母子寡婦福祉協議会の新法人移行方針（案）について

(3) 第3回評議員会 平成24年10月29日

**【審議事項】**

- ①一般財団法人新法人移行に関する事項について
  - ・新法人の評議員、理事及び監事の定数並びに役員等の報酬について
  - ・公益目的支出計画等について
  - ・新法人の定款について

(4) 第4回評議員会 平成24年11月26日

【審議事項】

- ①財団法人東京都母子寡婦福祉協議会の定款の変更の案について
- ②一般財団法人移行認可申請について
- ③東京都ひとり親家庭等在宅就業支援事業について
- ④平成24年度第3次補正予算について

(5) 第5回評議員会 平成25年1月13日

【審議事項】

- ①最初の評議員候補者の設置要綱について
- ②最初の評議員選定委員会委員の選任について
- ③移行認可申請及び公益目的支出計画について

(6) 第6回評議員会 平成25年3月15日

【審議事項】

- ①学習支援事業について
- ②平成25年度事業計画（案）について
- ③平成24年度収支予算（案）について
- ④経理規程の制定（案）について

【報告事項】

- ①最初の評議員選定委員会の結果について

### 3 監事監査

本協議会寄付行為第17条第5項に定める監事による監査は、平成24年5月15日に実施された。

### 4 法人制度改革に伴う財団法人のあり方検討委員会の開催

開催回数 3回

第6回 平成24年5月24日

議題 東京都母子寡婦福祉協議会法人制度改革の方向

第7回 平成24年8月3日

議題 東京都母子寡婦福祉協議会法人制度改革の方向

第8回 平成24年10月26日

- 議題 (1) 新法人の評議員、理事及び監事の定数並びに役員等の報酬に関すること  
(2) 一般法人の場合の公益目的支出計画等に関すること  
(3) 法人移行に伴う定款の変更に関すること

表1 東京都ひとり親家庭支援センターの運営（次ページ表2から表7までは関連の表）

事業・実施場所		方法	具体的な実施方法	24年度	23年度	22年度	
就業支援事業	就業相談 (はあと飯田橋)	電話 面接	月・水・木・金 9:00～17:00 (受付は16:30まで) 火・木 9:00～20:00(受付 は19:30まで)ただし、祝日 及び年末年始を除く	電話相談 1,531人 1,798件 面接相談 478人 756件	電話相談 1,774人 2,117件 面接相談 509人 765件	電話相談 1,289人 1,568件 面接相談 529人 824件	
			(はあと)	土・日・祝日 9:00～17:00 (受付は16:30まで)ただし、 年末年始を除く	※生活相 談の項へ	※生活相 談の項へ	※生活相 談の項へ
	就業促進活動 (はあと飯田橋)		随時	求人件数	377件	99件	174件
				求人数	1,418人	294人	485人
				求職登録者数	177人	178人	203人
				就業(決定)数	95人	91人	83人
	相談支援員 研修会 (はあと)	企画 立案等	年間5回 母子自立支援員や相談関係 者のための研修会	参加者 201人	参加者 165人	参加者 167人	
就業情報提供事業 (はあと飯田橋)	電話 面接	随時 就業相談時に情報提 供					
就業支援講習会 (はあと)	企画 立案等	年間10回 1回は3日×6 時間	177人	180人	186人		
生活相談事業 (はあと)		電話 面接	通年 9:00～17:00(受付は 16:30まで) ただし、年末年始を除く	電話相談 846人 1,802件 面接相談 21人 53件	電話相談 598人 1,039件 面接相談 45人 114件	電話相談 598人 1,039件 面接相談 45人 114件	
			土・日・祝日 9:00～17:00		電話相談 495人 1,154件	電話相談 495人 1,154件	
養育費相談事業	一般相談(はあと)	電話 面接		260人 431件	267人 408件	183人 301件	
	専門相談(はあと)	面接		121人 210件	143人 256件	118人 194件	
	家庭裁判所等 (はあと)	同行 支援	必要に応じて実施				
その他事業の実施に 必要な事項(はあと)		企画 立案等	随時				
在宅就業支援事業	在宅就業支援プログ ラム(はあと立川)	研修	月～金 9:30～16:30 はあと立川で受講する				
	在宅就業相談 (はあと立川)	電話 面接	月～金 9:00～17:30	263件	ひとり親 124件 企業 15件	ひとり親 285件 企業 0件	
	生活と仕事の両立 相談(はあと立川)	電話 面接	月～金 9:00～17:30	200人 366件	266人 408件	292人 414件	

平成24年度東京都ひとり親家庭支援センター事業実績

表2 就業相談、生活相談

		はあと飯田橋	はあと	計
来所	相談人数	478人	21人	499人
	(就業相談件数)	615件	15件	630件
	(生活相談件数)	141件	38件	179件
電話	相談人数	1,531人	846人	2,377人
	(就業相談件数)	1,582件	402件	1,984件
	(生活相談件数)	216件	1,400件	1,616件
合計	相談人数	2,009人	867人	2,876人
	相談件数	2,554件	1,855件	4,409件

表3 就業促進活動 求人、求職、就業実績数

求人件数	377件
(うち情報受)	5件
求人数	1,418人
(うち情報受)	10人
求職登録者数	177人
就業実績数	95人
(就業内訳)	正社員 30人、パート他 65人 事務職 57人、その他職種 38人

表4 相談支援員研修会

	日時・会場	研修内容	講師	参加者数
1	5月29日(火) 飯田橋セントラルプ ラザ4階会議室 13:30～16:30	・働き続けるための労働相談 ～基礎知識と最近の相談事例	東京都労働相談情報セン ター飯田橋 相談担当係長 中野 誠一 氏	31名 (申込32名)
2	6月12日(火) 中野サンプラザ 8階 研修室1 13:30～16:30	・子どもの感情の育ちと親子へ の支援～相談支援者が知って おくべきこと～	東京学芸大学教授 大河原 美以 氏	69名 (申込81名)
3	7月22日(日) 飯田橋セントラルプ ラザ4階会議室 13:30～16:30	・相談者自身が“解決”を手 に入れるための相談支援 ～解決志向ブリーフセラピー の視点を学ぶ～	東京大学大学院医学系 研究科助教 森 俊夫 氏	30名 (申込34名)
4	9月29日(土) 東京しごとセンター 5階 セミナー室 13:30～16:30	・ひとり親家庭への支援 ～外的キャリアと内的キャリアの 視点から～	臨床心理士・シニア産業カ ウンセラー 山下 則子氏	33名 (申込37名)
5	11月9日(金) 飯田橋セントラルプ ラザ 12 階 B 会議室 18:00～20:30	・ひとり親家庭になる前後にす ること・考えること～ひとり親サポ ートガイドの発行によせて～	養育費相談専門相談員・臨 床心理士渋谷 武子 氏 東京都少子社会対策部育 成支援課ひとり親福祉係 係長 田村陽子 氏	38名 (申込47名)
				計201名 (申込231名)

表5 就業支援講習会

(1) 実施形態

開催回数	10回
開催案内方法	・開催案内チラシ(3回)就業支援機関等に送付・ホームページ掲載 ・東京都ひとり親家庭支援センター情報紙「はあと通信」上で情報提供
講習内容	ビジネスアプリケーション WORD&EXCEL 初級・応用

(2) 実施内容      初級      パソコンの基本操作とワード・エクセル基本  
                         応用      ワード・エクセルビジネス実用とビジネスメール

回	月	実施日	会 場	内容	受講 人数	託児数
1	5月	18(金).22.(火)23(水)	中央・城北職業能力 開発センター	初級	23	
2	6月	1(金).2(土).3(日)	ひとり親家庭支援セ ンター はあと立川	初級	17	2
3	6月	19(火).26(火).29(金)	中央・城北職業能力 開発センター	応用	23	
4	7月	6(金).7(土).8(日)	ひとり親家庭支援セ ンター はあと立川	応用	17	1
5	8月	8(水).9(木).10(金)	中央・城北職業能力 開発センター板橋校	初級	15	
6	9月	25(火).26(水).28(金)	中央・城北職業能力 開発センター板橋校	応用	15	
7	10月	17(水).24(水).25(木)	城東職業能力開発セ ンター江戸川校	初級	14	
8	11月	10(土).11(日).12(月)	ひとり親家庭支援セ ンター はあと立川	初級	19	3
9	1月	19(土).20(日).21(月)	ひとり親家庭支援セ ンター はあと立川	応用	8	
10	2月	13(水).25(月).26(火)	中央・城北職業能力 開発センター	初級	26	
計					177	3



表6 養育費相談

一般相談実績数			専門相談実績
相談人数		260人	実施日数 99日 実施時間 194時間 相談人数 121人 相談件数 210件
相談内容	離婚・親権・婚姻費用	115件	
	取決方法・算定	160件	
	面接交渉	36件	
	増額・減額	8件	
	履行・強制執行	54件	
	その他	58件	
計		431件	

表6 面会交流支援

面会交流受付件数	355件	当事者（母）240件、当事者（父）96件、その他19件
交流支援件数（延べ）	75件	事前相談調整等
面会交流援助実施件数	34件	
関係機関問合せ件数	74件	弁護士・母子自立支援員・調停委員等

表7 在宅就業支援プログラム

期	年度当初 受講者数	<u>基本研修 6か月</u>	<u>実践研修 6か月</u>	終了者数
1	58	平成22年9月～ 平成23年2月	平成23年3月～ 平成23年8月	50
2	60	平成23年4月～ 平成23年9月	平成23年10月～ 平成24年3月	51
3	60	平成24年3月～ 平成24年9月	平成24年9月～ 平成25年3月	51
4	60	平成25年3月～ 開始		
計	178			

表9 東京ムーヴ事業

	月 日・場 所	内 容	出席者	
1	平成24年 7月1日(日) 10:00～12::00 ユースホステル集会室	ひとり親家庭交流会 子どもたちは、ステッカーアート	大人 子ども 役員・リーダー 母子会託児 ボランティア 事務局	8名 13名 4名 3名 4名 1名
2	平成24年 9月23日(日) 10:00～12:30 ユースホステル集会室	第2回ひとり親家庭交流会 子どもたちは、ステッカーアート	大人 子ども 役員・リーダー 母子会託児 事務局	5名 6名 6名 2名 1名
3	平成 24 年 11月 4 日(日) 10:15～14:30 北の丸公園	ひとり親家庭の親子集まれ！ 公園であそぼうよ！ ・水上さんと愉快的な音楽仲間たちとの グループ遊び ・母 交流会、子 園内散策	大人 子ども 役員・リーダー ボランティア 託児者 事務局(学生含)	16名 20名 5名 8名 2名 3名
4	平成 25 年 1月 25 日(金)～26 日(土) 東京セントラルユースホス テル	ユースホステルオリエンテーション 夕食会 ボランティアと入浴(男の子) 母親交流会 子供交流会 大江戸博物館見学	大人 子ども ボランティア 母子会託児 事務局	10名 10名 6名 2名 3名

\*第1回6月3日に予定していた「動物園に行こうよ！」は荒天のため中止

定例会等

	月 日	会 場	内 容	出席者
1	4月1日(日)	武蔵野市	24年度「行事動物園に行こうよ」打ち合わせ	役員4名 リーダー1名
2	5月12日(土)	西東京市	24年度「行事動物園に行こうよ」打ち合わせ	役員2名
3	6月3日(日)	飯田橋 ボラセン	中止後役員会 反省と次回予定 役員・リーダーの育成	役員3名 会長・担当理事
4	6月24日(日)	飯田橋 ボラセン	交流事業(7月1日)準備	役員2名
5	10月15日(土)	飯田橋	事前準備	役員4名 リーダー1名
6	11月20日(土)	飯田橋	クリスマスリース作り事前準備	役員2名
7	1月8日(日)	飯田橋	交流事業反省会、父子家庭アンケート報告 母子部長会議報告、研修会の内容決定	役員3名 リーダー3名
8	2月19日(日)	飯田橋	ひとり親部の運営について	役員3名 リーダー1名
9	3月3日(土)	飯田橋	事前準備	役員3名